

2020年 3月 10日

2019年度 校友会 活動実績報告書

(空手道) 部・同好会

顧問名 (本多 裕一)

活動方針 : 本部活動においては、一切の体罰・暴力を行いません。

空手道の精神を学び、心技体の成長を果たす。
礼儀作法や技の制御を学び、正しい強さを身につける。

活動報告(上記の活動方針を下に取り組んだ1年間の総括)

練習開始時、練習終了時の礼に重きを置き、黙想で自らを振り返る時間を必ず設けていた。組手の練習では心技体そろっていないと、相手を怪我させてしまう恐れがあるので、適切な心、精度の高い技、コントロール可能な体を身につけさせる指導を継続した。

結果、心身共に健全な生徒へと育ち、6月の関東大会への出場を果たすことができた。心が育ってきている状況なので、今後、質の高い練習が継続でき、大会結果もさらに期待できるようになってくるはずである。

今年度の課題は、『スポーツとして大会で勝ちたい生徒』にとっては満足いく練習にはならなかった場面が多く、不満を解消しきれていない面があることである。

また、組手と形の両方を練習することこそが、望ましい空手道であるのだが、大会結果にこだわろうとすると、どちらかに特化したほうが良いものであり、今後の方針を決めていく際に慎重に運営方法を考えていく必要がある。